



▲野口繁男さん（津川町今津）
「頼久寺ガーデンコンサート」

文芸コーナー

短歌

晩秋の黄昏前にあかあかとサルビアの花浮きたちて見ゆ
田辺 真佐子さん（備中町西山）

孫達の優しい気遣い有り難く小包届く敬老の日に
芝吹 美代子さん（落合町阿部）

黄金田に雲影動く山狭の小さき村も豊穡の秋
榊上 秀雄さん（備中町西山）

子供等とお城に登り太鼓打つお城祭り歴史をたぐる
坂田 昭夫さん（松原町大津寄）

毒へびを退じた老婆恐ろしき生かせておけぬ勇気が出るね
赤木 文子さん（備中町西山）

神無月地震災害出雲へと神神集い復興祈願
原田 由きさん（高倉町飯部）

日溜まりに石路咲きて暖かし季節はずれの川原躑躅も
田中 弘子さん（川上町領家）

紫の式部愛でつつかくわしき光の君を想て候
亀石恵美子さん（川上町仁賀）

ミニ☆トピックス



伝統の町並みの中で、親戚や友人、観光客から「おめでとう」と声を掛けられ、満面の笑みで応えていました。



▲原田実保子さん（高倉町田井）
「50個の花を咲かせる2本の白いゆり」

「お笑い川柳マツガ」



紅葉を独り占めする過疎のバス

市民のページへのお便りを募集

- ▶地域の行事やグループの活動など身近な出来事、地域の自慢（200字程度。写真添付可）
- ▶イラスト、絵手紙・絵画などの作品、短歌・俳句・川柳など（自作の未発表のもの。作品は写真をお送りください）
- ※住所・氏名・年齢・電話番号を明記し投稿してください。ペンネームを希望される場合は、その旨お書きください。
- ※投稿多数の場合は、すべてを掲載できないことがあります。また、お便りは表記等を一部編集させていただくこともあります。原則として原稿や作品は返却できません。あらかじめご了承ください。
- ※締切は、掲載号の前月25日（閉庁日の場合は翌閉庁日）
- 問い合わせ・送り先
〒716-8501（住所不要）広報たかはし「市民のページ」係
☎0210・Eメール hisyo@city.takahashi.lg.jp

すこやかスマイル

やぶき ももえ
矢吹 百絵ちゃん
(横町)
平成21年11月2日生まれ
「キャンプ大好き！自然を愛する山ガール☆」
(応) 父・勇さん

ささき ゆな
佐々木 柚奈ちゃん
(落合町阿部)
平成22年11月11日生まれ
「楽しい毎日ありがとう 元気に育ってね」
(応) 父・大さん

まるやま ちひろ
丸山 千尋ちゃん
(落合町阿部)
平成22年11月11日生まれ
「元気いっぱい千尋ちゃん、笑顔いっぱいありがとう♡」
(応) 母・美絵さん

うじひろ しおん
氏弘 梓音ちゃん
(有漢町有漢)
平成22年11月15日生まれ
「音弥兄、優音兄と仲良くね」
(応) 母・悦子さん

おさふね たかと
長船 天斗ちゃん
(上谷町)
平成20年11月18日生まれ
「ピッチュマン(ご当地ヒーロー)になりたい！」
(応) 父・泰晃さん

いしかわ たいが
石川 大雅ちゃん
(下谷町)
平成20年11月19日生まれ
「よく食べよく寝る大ちゃん。たくましく優しくなってね。」
(応) 父・憲さん 母・久美さん

くろかわ あきら
黒川 彰良ちゃん
(成羽町下日名)
平成22年11月23日生まれ
「お姉ちゃん達と仲良く、大きく元気に育ってね」
(応) 父・博之さん

広報紙の発行月に1歳、2歳、3歳の誕生日を迎える市内在住のお子さんの写真を掲載します。写真裏面にお子さんの氏名（ふりがな）、性別、生年月日、住所、応募者の氏名と続柄、電話番号を明記し、20字内のコメントをつけ、前月の25日（閉庁日の場合は翌閉庁日）までに送ってください。応募多数の場合は先着順とします。なお、応募された写真は返却できません。

【送り先】〒716-8501（住所不要） 広報たかはし「すこやかスマイル」係 ※市ホームページ「電子申請システム」からも応募できます。（応）：応募者

長寿おめでとうございます

10月に100歳(明治44年生まれ)の誕生日を迎えられた3人を、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。

市内で100歳以上の方は11月1日現在で33人(男性9人、女性24人)。



「備中かくら太鼓」打手の募集

『新しい自分を発見する』

地域をおこし、アピールしてきました。「神楽独特のリズムと優雅な舞」伝統と歴史を守ってこられた皆様に恥じぬ様、かくら太鼓を地域に密着させ、皆様に愛され、高梁の郷土芸能として誇れるものにしていきたいと打手一丸となって頑張っています。

備中かくら太鼓では、今、打手を募集しています。神楽が好き、太鼓が好き、少しでも興味がある方、ぜひ一度見学に来て下さい。

練習日：毎週水・土曜日 午後7時30分
場所：方谷ふれあいセンター
連絡先：090-3636-0126(山根)

私たちは、昭和58年10月に高梁市中井町の郷土芸能研究会のメンバー8人で村おこしに繋がればと、高梁市圏域で古くから行われていた備中神楽を太鼓用にアレンジし「備中かくら太鼓」を結成しました。

「神楽の意味をいかに知るか」からスタートし、神楽の持つ神秘性と勇壮さをイメージして創作活動を続けています。各種イベントに多く参加し太鼓を通じて

13周年大感謝祭